

(別紙様式2)

### 平成30年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名： 宮崎県  
農業委員会名： 五ヶ瀬町

#### I 農業委員会の状況(平成31年4月1日現在)

##### 1 農業の概要

単位:ha

	田	畑	畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	453	282				735
経営耕地面積	225	153	81	64	8	378
遊休農地面積	0.46	0.35				0.81
農地台帳面積	466	420				886

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
- ※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	598
自給的農家数	208
販売農家数	390
主業農家数	127
準主業農家数	89
副業的農家数	174

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	641
女性	286
40代以下	67

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	69
基本構想水準到達者	2
認定新規就農者	4
農業参入法人	1
集落営農経営	1
特定農業団体	0
集落営農組織	1

※農業委員会調べ

##### 2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員				合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	
農業委員数							
認定農業者	—						
女性	—						
40代以下	—						

新制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 R 2年 7月 19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	10	10
認定農業者	—	4
認定農業者に準ずる者	—	2
女性	—	3
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	8	8	3

\*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

## II 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	735 ha	268.91 ha	36.59%
課 題	担い手の減少により、思うように集積は進んでいない。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

### 2 平成30年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
271.11 ha	268.91 ha	1.22 ha	99.19%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

### 3 目標の達成に向けた活動

活動計画	現時点で遊休化している農地の解消を図りつつ、中間管理事業等を周知・活用し、担い手への集積を促進する。
活動実績	各委員の地域での活動により担い手への集積を図るとともに、中間管理事業の活用について相談会に出席し、担い手へ働きかけた。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	担い手の減少により、新規で集積する面積より、そうでない面積の方が多くなり、トータルでは面積が減少した。
活動に対する評価	中間管理事業の活用は出し手の方は比較的前向きであるが、受け手は手続きが面倒と感じている方もいるので、受け手となる担い手への推進は難しかった。委員の相談会への出席もあり、その後も積極的に調整を行った。

### Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

#### 1 現状及び課題

新規参入の状況	27年度新規参入者数	28年度新規参入者数	29年度新規参入者数
	1 経営体	2 経営体	1 経営体
	27年度新規参入者が取得した農地面積	28年度新規参入者が取得した農地面積	29年度新規参入者が取得した農地面積
	0.18ha	1.95ha	0.12ha
課題	新規就農者への経営安定のための施策を充実させる必要がある。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

#### 2 平成30年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②/①×100)
1 経営体	0 経営体	0%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④/③×100)
0.2 ha	0 ha	0%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

#### 3 目標の達成に向けた活動

活動計画	SAP協議会など青年就農者の会合を通じて、就農希望者の情報を収集するとともに、農業次世代人材投資事業等、新規参入にあたっての補助制度の周知を行う。 また、制度活用にあたって農地の確保が必要な場合は、地元委員と事務局により、確保に必要な活動を行う。
活動実績	相談者は複数おり、数回相談会は行ったが、就農時期は次年度を予定しているため、概ね農地の見通しはあるようだが貸借契約には至っていない。 また、以前の新規参入者に対して、12月の経営相談会の中で新たな農地の貸借の相談を受け、年度末まで確保へ向けた活動を行った。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

#### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	相談会の中で補助事業活用の話もした。また、農地の確保に向けた話もその中で必要に応じて行った。
活動に対する評価	まずは担い手の確保が必要であり、相談会の中で今後具体的に話が詰まってくれば、状況に応じて農地確保へ向けた支援を行う必要がある。 以前からの新規就農者の農地確保へ少しの面積であったが助力できた。

#### IV 遊休農地に関する措置に関する評価

##### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	735 ha	0.81 ha	0.11%
課 題	遊休農地の発生を防ぐための受け皿となる担い手の不足、今後守るべき農地の選別。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

##### 2 平成30年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
0.09 ha	0 ha	0%

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

##### 3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期			
	活動実績	農地の利用状況調査	18人	4月～10月	8月～11月		
農地の利用意向調査		調査実施時期: 11月～1月					
その他の活動							
農地の利用状況調査		調査員数(実数) 18人	調査実施時期 4月～10月	調査結果取りまとめ時期 11月			
活動実績	農地の利用意向調査	調査実施時期	11月～2月	調査結果取りまとめ時期			
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条			
		調査数:	17 筆	調査数:	筆	調査数:	筆
		調査面積:	0.81 ha	調査面積:	ha	調査面積:	ha
その他の活動							

##### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	解消に至るものはほんの少しであり、トータルでは少しずつ増えている。
活動に対する評価	非農地証明の承認、非農地判断により少しずつではあるが選別を行っている。数字には出てこないが、権利設定により未然に遊休化を防げたものもあった。

## V 違反転用への適正な対応

### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	735 ha	0.18 ha
課 題	農地転用にあたって、手続きの周知があまりできていない。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

### 2 平成30年度実績

実 績①	増減(B-①)
0.18 ha	0 ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

### 3 活動計画・実績及び評価

活動計画	随時農地パトロールを行っていく。 広報等により転用手続きの周知を行う。
活動実績	利用状況調査に関わらず、随時パトロールを実施した。 また、地元委員の声掛けにより手続きに来られた方もいた。
活動に対する評価	引き続き行っていく。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等  
詳細かつ具体的に記入

## VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

### 1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 9 件、うち許可 9 件及び不許可 0 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	事務局または地元委員による確認を行った。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	事務局及び委員による調査報告により許可審査を行った。			
	是正措置				
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	1 件		
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	0 件		
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	役場備え付けの資料による公表、総会議事録の公表。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 30 日	処理期間(平均)	30 日
	是正措置				

### 2 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数: 7 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	事務局または地元委員による確認を行った。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	事務局及び委員による調査報告により許可審査を行った。			
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	役場備え付けの資料による公表、総会議事録の公表。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 30 日	処理期間(平均)	30 日
	是正措置				

### 3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況		
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数		3 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数		3 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数		0 法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数		0 法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人		0 法人
	提出しなかった理由		
	対応方針		
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数		0 法人
	対応状況		

### 4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容	
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 件 公表時期 平成 年 月
	是正措置	情報の提供方法:
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 件 取りまとめ時期 平成 年 月
	是正措置	情報の提供方法:
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 735 ha
		データ更新: 随時(予定)
	公表: 農地ナビ(予定)	
是正措置		

#### ※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

## VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 なし  〈対処内容〉
農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 なし  〈対処内容〉

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

## VIII 事務の実施状況の公表等

### 1 総会等の議事録の公表

HPIに公表している

その他の方法で公表している

--

### 2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数      0   件

提出先及び提出した意見の概要	
----------------	--

### 3 活動計画の点検・評価の公表

HPIに公表している

その他の方法で公表している

--